

2022年5月10日

受益者の皆さまへ

アセットマネジメント One 株式会社

当社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社が設定するファンドのうち以下ファンドの基準価額が本日大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

※ 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。

【基準価額 5%超下落ファンド】(注)

| ファンド名 | 基準価額(円) | 前日比(円) | 騰落率 |
|--|---------|--------|--------|
| グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし) | 20,657 | ▲1,475 | ▲6.66% |
| グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(年2回決算型)(為替ヘッジなし) | 11,587 | ▲824 | ▲6.64% |
| グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし) | 9,028 | ▲639 | ▲6.61% |
| グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(予想分配金提示型)(為替ヘッジなし) | 6,480 | ▲453 | ▲6.53% |
| DIAMシェール株ファンド | 11,747 | ▲815 | ▲6.49% |
| グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(限定為替ヘッジ) | 15,299 | ▲1,004 | ▲6.16% |
| グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(年2回決算型)(限定為替ヘッジ) | 9,777 | ▲641 | ▲6.15% |
| グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(予想分配金提示型)(限定為替ヘッジ) | 5,767 | ▲376 | ▲6.12% |
| DIAMオーストラリアリートオープン | 9,335 | ▲584 | ▲5.89% |
| Oneフォーカス フィンテック | 9,013 | ▲555 | ▲5.80% |
| 先進国ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし) | 13,838 | ▲840 | ▲5.72% |
| Oneフォーカス AI | 13,059 | ▲788 | ▲5.69% |
| DIAMベトナム株式ファンド | 18,588 | ▲1,083 | ▲5.51% |
| 米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース(為替ヘッジあり) | 7,981 | ▲447 | ▲5.30% |
| 先進国ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジあり) | 11,817 | ▲656 | ▲5.26% |
| 米国厳選成長株集中投資ファンド Bコース(為替ヘッジなし) | 9,457 | ▲518 | ▲5.19% |
| 新光 US-REIT オープン | 2,250 | ▲123 | ▲5.18% |

当資料は4枚ものです。P.4の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」をご確認ください。



商号等：アセットマネジメント One 株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

| ファンド名 | 基準価額(円) | 前日比(円) | 騰落率 |
|----------------------------------|---------|--------|--------|
| 世界eコマース関連株式オープン | 16,878 | ▲921 | ▲5.17% |
| 新興国ハイクオリティ成長株式ファンド | 12,208 | ▲658 | ▲5.11% |
| MHAMコモディティ・インデックスファンド(ファンドラップ) | 6,528 | ▲351 | ▲5.10% |
| 新光 US-REIT オープン(年1回決算型) | 21,819 | ▲1,170 | ▲5.09% |
| Oneフォーカス ミレニアルズ | 9,286 | ▲495 | ▲5.06% |
| フィッシャー・グローバル・スモールキャップ・エクイティ・ファンド | 11,777 | ▲625 | ▲5.04% |

(注) DC (確定拠出年金) 専用ファンド、ETF、純資産総額 1 億円未満のファンド、ブルベア型ファンド等を除く。

次ページ以降に基準価額の変動要因となった主な市況の動向および今後の見通しについて記載しておりますのでご参照ください。

なお、上記ファンドにつきましては、今後の状況を注視しつつ運用を行ってまいりますので、引き続き当社投資信託をご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

当資料は 4 枚ものです。P. 4 の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」をご確認ください。

1. 市況の動向

5月6日発表の4月の米雇用統計の結果が米連邦準備理事会（FRB）の積極的な利上げ姿勢を支持するものと受け止められたことや、中国では都市封鎖や行動制限が厳格化する中で、5月9日発表の同国の4月貿易統計において輸出の伸びが大幅に鈍化し、サプライチェーンの混乱が続くとの見方が広がったことなどから、5月9日は株式市場を中心にリスク性資産が全面安となりました。

また、豪州リート市場については、5月3日にオーストラリア準備銀行（RBA）が市場予想を上回る利上げを行ったことなどを背景に早期金融引き締めへの警戒感が高まっていることも下落要因となりました。

【市場データの騰落率等】

| | 前日比 | 騰落率 | 取引終了値 |
|-----------------------------------|-----------|-------|-----------|
| ナスダック 総合指数 | ▲521.41 | ▲4.3% | 11,623.25 |
| FTSE NAREIT All エクイティ・REIT・インデックス | ▲1,124.87 | ▲4.5% | 24,017.22 |
| S&P 豪州 REIT インデックス | ▲39.99 | ▲4.1% | 930.94 |
| ベトナム VN指数 | ▲59.64 | ▲4.5% | 1,269.62 |
| NY 原油(ドル/バレル) | ▲6.68 | ▲6.1% | 103.09 |

※5月9日時点。

※前日比と騰落率は、5月6日時点からの変化を算出。

※ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

2. 今後の見通し

米国や豪州をはじめ各国ではインフレ懸念が高まっており、当面の間、中央銀行の早期金融引き締め観測の高まりが世界株式市場の重しとなることが想定されます。一方で、米国を中心に年初から足元まで相応の調整が進んでいることもあり、次第に割安感が高まっていることも事実です。こうした環境の中で、各国中央銀行の金融政策が一定の効果をみせれば、世界株式市場は徐々に落ち着きを取り戻していくものとみています。

また、豪州リート市場については、上記見通しに加えて相場下落時には相対的に高い配当利回りに着目した投資家からの資金流入なども期待されます。

- ※ 前記の市場の動向は、過去の実績であり将来の運用成果等を保証するものではありません。また、今後の見通しは、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
- ※ ナスダック総合指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は Nasdaq Stock Market, Inc. に帰属します。
- ※ “FTSE” 及び “FTSE®” は、London Stock Exchange Group の商標であり、ライセンスに基いて FTSE が使用しています。FTSE NAREIT All エクイティ・REIT・インデックス（以下「本指数」）は、FTSE の商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利は FTSE 又はその関連パートナー会社に与えられています。FTSE は、本指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。また、算出又は公表の誤謬、遅延または中断に対し、一切責任を負いません。
- ※ S&P 豪州 REIT インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC またはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC またはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P 豪州 REIT インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- ※ ベトナム VN 指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はホーチミン証券取引所に帰属します。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券(リート)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料: 上限3.85%(税込)

換金時手数料: 換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額: 上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 上限 年率2.09%(税込)

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

●当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。